

ちようようもんじゅぼさつ

頂葉文殊菩薩由来記（東新屋）

袋井市岡崎（旧笠原村）の龍巢院に頂葉文殊菩薩が安置されています。現在は、【秘仏】です。

【御丈4寸（十二cm）位の金剛仏】とのこと。

江戸時代の天保の初めころ（百九十年前）。東新屋の佐助という人が、福田町雁代海岸で拾い、家に持ち帰り仏壇に祭っていました。ところが、夢のお告げが三日三晩続きました。「文殊菩薩を笠原村岡崎五十岡の龍巢院へ奉納し、お祭りしてもらえ、それを実行すれば、我が本体を見せてやる。」と。そこで、菩薩像を龍巢院へ奉納しました。すると、翌朝、屋敷の片隅にある大榎の木に黒雲が下りてきて、天頂から地表に至るような大蛇が現れたそうです。